

2020 産前・産後ケアセミナーシリーズ

コースタイトル： <産前・産後>リアライン ReaLine Pregnancy Care (RPC)

コーステーマ： 産前・産後の不良姿勢、マルアライメント、関節の不調の病態と治療法

回数： 8回コース

内容	<ul style="list-style-type: none"> ●産前・産後の姿勢変化、体型変化は、様々な痛みは不調を引き起こします。これらは関節のマルアライメントや不安定性を伴うことで、さらに悪化し、慢性化する場合があります。このコースでは、産前・産後の運動器の不調について、バイオメカニクスの不調発生のメカニズムを解説し、問題点を整理し、不調の改善・解消に向けた具体的な方法を習得していただくことを目的として講習します。 ●リアライン・コンセプトに基づき、関節のマルアライメントを改善するために必要な知識と運動療法、補装具療法の活用法を習得していただけるようにコースを設計しています。
他コースとの重複	●総論、各論（評価法や治療法）ともに、CSPTとかなりの重複部分がありますので、CSPTを受講された方はご注意ください。
レベル設定	<ul style="list-style-type: none"> ●理学療法養成校卒業レベルの運動器の解剖学と運動学、基礎的なバイオメカニクスの知識が必要です。十分に学習していただくことで、非医療職の方も受講できるようにいたします。 ●全体の80%以上は助産師、看護師、トレーナー、ボディワーカー（ピラティス、ヨガを含む）向けで、主として運動療法や補装具の活用による問題解決を図ります。また運動療法の限界についても理解できるように講習します。 ●全体の20%程度はセラピスト向けの徒手療法を講習します。具体的には、最低限の対症療法および拘縮治療に必要な初級レベルの組織間リリースを講習します。 <p>※男性も参加可能です。</p>

到達目標		主な技術・デバイス
第1回	産前・産後ケアの可能性、精密触診と組織間リリースの基礎技術	
	<ul style="list-style-type: none"> ●産前・産後に発生しやすい種々の不調（関節痛、ファシアの異常と疼痛、胸郭出口症候群、乳腺炎、腹直筋離開、尿漏れ、胃腸の不調など）について解説し、それぞれに対して効果的な治療法を説明します。 ●リアライン・コンセプトの基本的な考え方を講習し、全身のマルアライメントの特徴と、そのメカニズムと解決に必要な原因因子を分類できるように講習します。 ●精密触診と組織間リリースの基礎技術の実技講習を行います。 	精密触診 組織間リリース
第2回	産前・産後の腰痛・骨盤痛の治療法	
	<ul style="list-style-type: none"> ●産前・産後の腰痛・骨盤痛の治療には、一般的な腰痛・骨盤痛のメカニズム、評価法、治療法を基盤とし、さらに産前・産後特有の問題点を理解することが必要です。出産の前後各2週間を除けば、十分に治療可能であり、症状を寛解させることができます。 ●確実にこれらの苦痛を取り去るために必要な病態把握、リスク、評価法、治療法を講習します。 	リアライン・コアSI 骨盤底筋トレーニング器具 組織間リリース
第3回	産前・産後の胸郭の可動性改善・変形・体型回復、腹直筋離開対策	
	<ul style="list-style-type: none"> ●産前・産後の胸郭の変形と運動学的異常がもたらす呼吸への影響、頭頸部、腕神経叢、乳腺への影響などについて講習します。 ●これらの不調に対する具体的な治療法として、胸郭アライメント・可動性の修正法、胸郭出口症候群の治療法、腹直筋離開の病態と治療法について講習します。 	リアライン・コア 組織間リリース

第4回	産前・産後の股関節痛、鼠径部痛、臀部痛の治療法	
<ul style="list-style-type: none"> ●産前・産後に発生しやすい股関節、鼠径部、殿部の痛みや不調について講習します。 ●鼠径部痛、股関節前面の詰まり、外転筋周囲の不快感、深殿部痛、坐骨部痛、骨盤底筋痛などの病態を解説し、その治療法を講習します。 		リアライン・コアSI 骨盤底筋トレーニング器具 組織間リリース
第5回	産前・産後の膝関節疾患・疼痛の治療法	
<ul style="list-style-type: none"> ●女性に起こりやすい内側型変形性関節症の危険因子としての下腿外旋拘縮の病態と、産前・産後の側臥位での睡眠習慣がもたらす股関節外転拘縮の病態、そしてその結果生じる異常な歩行パターンについて講習します。 ●その治療法として、正常な膝関節のスクリーホーム運動を回復させつつ、正常な歩行パターンを取り戻す方法について講習します。 		リアライン・レッグプレス リアライン・バランスシューズ 組織間リリース
第6回	産前・産後の足部・足関節変形・疼痛の治療法と靴・インソールによる対応	
<ul style="list-style-type: none"> ●女性に起こりやすい外反母趾、足関節不安定症、外側荷重、扁平足など足部のマルアライメントを理解し、対策としての足部・足関節のアライメントの修正法を講習します。 ●パンプス、ハイヒールの苦痛を解消するために開発されたインソールやパンプスの試着により、その効果を検証していただきます。 		リベラシオン（パンプス） リベラシオン・インソール
第7回	産前・産後の足部・足関節変形・疼痛の治療法	
<ul style="list-style-type: none"> ●産前・産後の不良姿勢、育児動作がもたらす頭頸部・上背部の不調のメカニズムについて講習します。 ●それらの不調の解決策としての運動療法の効果と限界、その方法を講習します。 		リアライン・コア 組織間リリース
第8回	産前・産後の手関節周囲の疼痛の治療法	
<ul style="list-style-type: none"> ●産後の育児（抱っこ）で頻発する肘関節や手関節周囲の腱炎・腱鞘炎の病態を理解し、その治療法と予防法について講習します。 		組織間リリース

2020 産前・産後ケアセミナーシリーズ

コースタイトル： 精密触診と疼痛治療 Precise Palpation & Pain Therapy

コーステーマ： 精密触診と組織間リリースによる運動器の疼痛の評価と治療法

回数： 4回コース

内容	<ul style="list-style-type: none"> ●精密触診の技術習得のためのエコーの活用法について、実際にエコーを用いて実技を行います。 ●精密触診の技術を用いて、疼痛の原因となりやすい神経、滑液包、筋、腱などの疼痛を正確に触診できるように実技講習を行います。 ●圧痛とは異なる「リリース時痛」を理解し、リリース時痛を解消させる組織間リリースの技術の習得を目指して講習を行います。
他コースとの重複	<ul style="list-style-type: none"> ●組織間リリースの各コースと一部重複があります。 ●組織間リリースの各コースでは関節のアライメント、拘縮および筋機能回復を目指した治療法を講習するのに対し、本コースでは痛みの治療を中心とした組織間リリースを行います。
レベル設定	<ul style="list-style-type: none"> ●医師、理学療法士、作業療法士を対象とします。 ●セミナー中に説明する組織や器官の形状、走行、位置関係を理解し、触知できるようになるため、理学療法士として運動器疾患の治療を3年以上経験し、筋・腱、関節包、靭帯、血管、神経の詳細な解剖学の知識が必要です。 ●医師およびセラピスト向けの触診および疼痛治療のための徒手療法のための講習となります。事前に組織間リリース初級編を履修することが推奨されます。 <p>※男性も参加可能です。</p>

日数	到達目標	主な技術・デバイス
第1回	精密触診と組織間リリースの基礎	
	●精密触診と組織間リリースの基礎技術を習得します。	精密触診 組織間リリース
第2回	筋・腱の疼痛治療	
	●ハムストリングス、アキレス腱、上腕二頭筋腱などの精密触診と組織間リリースを習得します。	精密触診 組織間リリース
第3回	靭帯・関節包の疼痛治療	
	●膝関節、肘関節、肩関節などの靭帯や関節包の痛みの治療法としての組織間リリースを習得します。	精密触診 組織間リリース
第4回	末梢神経・血管の疼痛治療	
	●殿部、腰部、上背部、頭頸部、腕神経叢などの神経・滑液包の精密触診と組織間リリースを習得します。	精密触診 組織間リリース

2020 産前・産後ケアセミナーシリーズ

コースタイトル： <産前・産後> 組織間リリース Pregnancy-ISR Precice Palpation & Pain Therapy

コーステーマ： 組織間リリースによる産前・産後の不調、マルアライメント、不良姿勢の治療法

回数： 3回コース

内容	<ul style="list-style-type: none"> ●産前・産後の姿勢変化、体型変化には組織間の癒着が少なからず関与しています。その治療には、癒着を確実に解消させて、組織間の正常な滑走性を回復させる必要があります。そのためには組織間リリースの技術が不可欠です。 ●精密触診と組織間リリースの技術を用いて、産前・産後に起こりやすい種々の問題を完治させられるようになるための治療技術習得のためのセミナーです。各3日コースで構成されており、3日間で確実な技術習得を達成することを目標とします。
他コースとの重複	<ul style="list-style-type: none"> ●「精密触診と疼痛治療」コースと一部重複があります。 ●本コースでは関節のアライメント、拘縮および筋機能回復を目指した治療法中心に講習するのに対し、「精密触診と疼痛治療」では痛みの治療を中心とした組織間リリースを行います。
レベル設定	<ul style="list-style-type: none"> ●医師、理学療法士、作業療法士、柔道整復師、鍼灸師を対象とします。 ●セミナー中に説明する組織や器官の形状、走行、位置関係を理解し、触知できるようになるため、理学療法士として運動器疾患の治療を3年以上経験し、筋・腱、関節包、靭帯、血管、神経の詳細な解剖学の知識が必要です。 ●医療資格を有するセラピスト向けの徒手療法のための講習となります <p>※男性も参加可能ですが、実技パートナー（男女どちらも可）とともにご参加ください。女性の参加者は、原則として女性同士でペアを組んでいただきます。</p>

日数	到達目標	主な技術・デバイス
コース1	初級編（3日コース）	
	<ul style="list-style-type: none"> ●組織間リリースの初級レベルの技術を習得することを目標とします。 ●頭頸部、腹部、骨盤周囲などの癒着を触知するための精密触診およびその治療法としての組織間リリースを講習します。 	精密触診 組織間リリース
コース2	胸郭	
	<ul style="list-style-type: none"> ●主な対象疾患として、胸郭可動性改善、産後体型回復と胸郭の形状改善、頸肩腕症候群、胸郭出口症候群、乳腺炎、腹直筋離開、腹筋群機能低下、胃腸障害を取り上げます。 ●初級編（A）で習得した技術とともに病態と詳細な解剖学を理解したうえで、上記の解決策としての組織間リリースを講習します。 ●腹部内臓疾患のある方は事前に事務局にお知らせください。 	精密触診 組織間リリース
コース3	骨盤	
	<ul style="list-style-type: none"> ●主な対象疾患として、骨盤底筋痛、膣弛緩症、尿失禁、生理痛、排卵痛、便秘などを取り上げます。 ●初級編（A）で習得した技術とともに病態と詳細な解剖学を理解したうえで、上記の解決策としての組織間リリースを講習します。 ●腹部内臓疾患、泌尿器疾患、婦人科疾患のある方は事前に事務局にお知らせください。 	精密触診 組織間リリース

2020 産前・産後ケアセミナーシリーズ

名称： **周産期ケア勉強会 Pregnancy Care Meeting**

単発

随時 (女性限定)	<p>この勉強会は、ホテルの居室などで10名程度の少人数で行う勉強会です。毎月翌月の計画を立て、参加者を募集します。蒲田の出張予定に合わせてのスケジュールとなります。勉強会の進め方としては、参加者の産前・産後の方を中心に患者モニターになってもらい、治療を共有しながらディスカッションします。治療のデモンストレーションの対象は産前および産後1年以内の方を優先しますが、時間があればそれ以外の方の治療も行う場合があります。</p> <p>詳細情報・参加登録：http://bit.ly/2TWOkmE</p>
--------------	--

2020 ジョイントヘルスセミナーシリーズ

コースタイトル： クリニカルスポーツ理学療法 Clinical Sports Physical Therapy

コーステーマ： リアライン・コンセプトに基づくスポーツ外傷・障害、関節疾患の治療法

回数： 10回コース

日数	到達目標	主な技術・デバイス
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●スポーツ外傷・障害および変形性関節症を含む関節疾患の治療法は、十分に確立したものではありません。そのような中、治療の進め方を「設計図」として定式化し、その流れに準じて治療を進めることにより、確実に治療終了に到達できます。設計図としてのリアライン・コンセプトを十分に理解していただき、各関節においてシンプルに治療を進められるようになることを目標とします。 ●リアライン・コンセプトに基づき、関節のマルアライメントを改善するために必要な知識と運動療法、補装具療法の活用法を習得していただけるようにコースを設計しています。 ●アライメント評価とその治療法に重点を置いたセミナーとなります。痛みに対する対症療法も紹介しますが、疼痛治療（対症療法）の講習はPPPT（精密触診と疼痛治療）となります。 	
他コースとの重複	<ul style="list-style-type: none"> ●総論、各論（評価法や治療法）ともに、RPC（＜産前・産後＞リアライン）と重複部分があります。 ●CSPTで紹介する対症療法は、PPPT（精密触診と疼痛治療）において詳しく実技講習します。 ●CSPTで紹介する各関節のマルアライメントの原因因子に対する組織間リリースは、関節疾患ISRにて詳しく実技講習を行います。 	
レベル設定	<ul style="list-style-type: none"> ●理学療法養成校卒業レベルの運動器の解剖学と運動学、基礎的なバイオメカニクスの知識が必要です。十分に予習していただくことで、非医療職（トレーナー）の方も受講できるようにいたします。 ●全体の80%以上は若手セラピスト、トレーナー向けで、主として運動療法や補装具の活用による問題解決を図ります。また運動療法の限界についても理解できるように講習します。 ●全体の10-20%程度はセラピスト向けの徒手療法を講習します。具体的には、最低限の対症療法および拘縮治療に必要な初級レベルの組織間リリースを講習します。 	

日数	到達目標	主な技術・デバイス
第1回	リアライン・コンセプトに基づく関節疾患の治療法総論、精密触診と組織間リリース	
	<ul style="list-style-type: none"> ●リアライン・コンセプト（治療の設計図）を理解し、ケースレポートに落とし込む作業を通じて、その運用法を理解することを目標とします。 ●精密触診と組織間リリースの基礎的な技術を習得します（実技）。 	精密触診 組織間リリース
第2回	骨盤マルアライメントの評価と治療	
	<ul style="list-style-type: none"> ●骨盤マルアライメントの原因因子と結果因子を理解し、治療の設計図を習得します。 ●骨盤マルアライメントのパターンを理解し、触診による評価技術を習得します。 ●骨盤マルアライメントの原因因子の治療として、組織間リリース、運動療法、補装具療法の役割と限界を理解し、その技術を習得します。 	リアライン・コアSI 組織間リリース 運動療法
第3回	胸郭マルアライメントの評価と治療	
	<ul style="list-style-type: none"> ●胸郭マルアライメントの原因因子と結果因子を理解し、治療の設計図を習得します。 ●胸郭マルアライメントのパターンを理解し、触診による評価技術を習得します。 ●胸郭マルアライメントの原因因子の治療として、組織間リリース、運動療法、補装具療法の役割と限界を理解し、その技術を習得します。 	リアライン・コア 組織間リリース 運動療法

第4回	腰痛・骨盤痛の評価と治療	
●胸郭・骨盤マルアライメントの腰椎運動への影響を理解し、腰痛・骨盤痛治療の設計図を習得します。 ●骨盤・胸郭アライメントの評価結果に基づき、治療の具体的な方針を作成できるようになります。 ●運動療法、補装具療法、組織間リリースを活用して、その治療効果を得ることができるようになります。		リアライン・コア 組織間リリース 運動療法
第5回	股関節疾患・鼠径部痛の評価と治療	
●アスリートに好発する鼠径部痛症候群、臼蓋大腿インピンジメントのについて理解します。 ●鼠径部痛、股関節前面の詰まりの病態を解説し、その治療法を習得します。		組織間リリース 運動療法
第6回	膝関節疾患・下腿外旋症候群の評価と治療	
●スポーツ外傷・障害のメカニズムとして、また再発リスクを高める可能性のある「下腿外旋拘縮」の病態について理解します。 ●その治療法として、正常な膝関節のスクリーホーム運動を回復させつつ、正常な歩行パターンや着地、減速動作などのアライメント修正法を習得します。		リアライン・レッグプレス リアライン・バランス シューズ膝関節用 組織間リリース・運動療法
第7回	足関節疾患・足関節背屈位動揺性の評価と治療	
●足関節捻挫のメカニズム及び病態、急性期の治療について理解します。 ●慢性足関節不安定症の病態と治療法、不安定感を悪化させる足関節背屈位動揺性の概念を理解します。 ●背屈位安定性に対して、適切な距腿関節のリアラインを達成する治療法を習得します。		リアライン・バランス シューズ足関節用 組織間リリース・運動療法
第8回	足部マルアライメントの評価と治療	
●足部のマルアライメントである扁平足、ハイアーチ、外反母趾のメカニズムを理解します。 ●上記のマルアライメントの治療法を理解し、それに必要な技術を習得します。		リアライン・インソール 組織間リリース・運動療法
第9回	肩関節疾患の評価と治療	
●肩関節のマルアライメントとしての上腕骨頭上方偏位のメカニズムを理解します。 ●肩甲胸郭関節の可動性低下のメカニズムを理解します。 ●肩甲胸郭、肩甲上腕関節の可動性およびマルアライメント治療を習得します。		組織間リリース・運動療法
第10回	肘関節疾患の評価と治療	
●肘関節、手関節のマルアライメントパターンを理解します。 ●肘外反拘縮、手関節における尺骨背側偏位、手根骨掌側偏位について理解します。 ●上記のマルアライメントの治療法を習得します。		組織間リリース・運動療法

2020 ジョイントヘルスセミナーシリーズ

コースタイトル： 精密触診と疼痛治療 Precise Palpation & Pain Therapy

コーステーマ： 精密触診と組織間リリースによる運動器の疼痛の評価と治療法

回数： 4回コース

内容	<ul style="list-style-type: none"> ●精密触診の技術習得のためのエコーの活用法について、実際にエコーを用いて実技を行います。 ●精密触診の技術を用いて、疼痛の原因となりやすい神経、滑液包、筋、腱などの疼痛を正確に触診できるように実技講習を行います。 ●圧痛とは異なる「リリース時痛」を理解し、リリース時痛を解消させる組織間リリースの技術の習得を目指して講習を行います。
他コースとの重複	<ul style="list-style-type: none"> ●組織間リリースの各コースと一部重複があります。 ●組織間リリースの各コースでは関節のアライメント、拘縮および筋機能回復を目指した治療法を講習するのに対し、本コースでは痛みの治療を中心とした組織間リリースを行います。
レベル設定	<ul style="list-style-type: none"> ●医師、理学療法士、作業療法士を対象とします。 ●セミナー中に説明する組織や器官の形状、走行、位置関係を理解し、触知できるようになるため、理学療法士として運動器疾患の治療を3年以上経験し、筋・腱、関節包、靭帯、血管、神経の詳細な解剖学の知識が必要です。 ●医師およびセラピスト向けの触診および疼痛治療のための徒手療法のための講習となります。事前に組織間リリース初級編を履修することが推奨されます。 <p>※男性も参加可能です。</p>

日数	到達目標	主な技術・デバイス
第1回	精密触診と組織間リリースの基礎	
	●精密触診と組織間リリースの基礎技術を習得します。	精密触診 組織間リリース
第2回	筋・腱の疼痛治療	
	●ハムストリングス、アキレス腱、上腕二頭筋腱などの精密触診と組織間リリースを習得します。	精密触診 組織間リリース
第3回	靭帯・関節包の疼痛治療	
	●膝関節、肘関節、肩関節などの靭帯や関節包の痛みの治療法としての組織間リリースを習得します。	精密触診 組織間リリース
第4回	末梢神経・血管の疼痛治療	
	●殿部、腰部、上背部、頭頸部、腕神経叢などの神経・滑液包の精密触診と組織間リリースを習得します。	精密触診 組織間リリース

2020 ジョイントヘルスセミナーシリーズ

コースタイトル： <関節疾患> 組織間リリース Joint-ISR Precice Palpation & Pain Therapy

コーステーマ： 組織間リリースによる関節疾患の不調、マルアライメント、不良姿勢の治療法

回数： 3回コース

日数	到達目標	主な技術・デバイス
コース1	初級編（3日コース）	
	<ul style="list-style-type: none">●組織間リリースの初級レベルの技術を習得することを目標とします。●運動器の癒着を触知するための精密触診およびその治療法としての組織間リリースを習得します。	精密触診 組織間リリース
コース2	股関節	
	<ul style="list-style-type: none">●股関節の可動域制限の解消とともに、骨盤マルアライメントの治療法としての組織間リリースを習得します。●初級編（A）で習得した技術とともに病態と詳細な解剖学を理解したうえで、上記の解決策としての組織間リリースを講習します。	精密触診 組織間リリース
コース3	膝関節	
	<ul style="list-style-type: none">●膝関節の下腿外旋拘縮、伸展制限、屈曲制限の解消に必要な組織間リリースを習得します。●初級編（A）で習得した技術とともに病態と詳細な解剖学を理解したうえで、上記の解決策としての組織間リリースを講習します。	精密触診 組織間リリース
コース4	肩関節	
	<ul style="list-style-type: none">●肩関節拘縮の治療に必要な胸郭、肩甲胸郭、肩甲上腕関節の癒着に対する組織間リリースを習得します。●初級編（A）で習得した技術とともに病態と詳細な解剖学を理解したうえで、上記の解決策としての組織間リリースを講習します。●腹部内臓疾患、泌尿器疾患、婦人科疾患のある方は事前に事務局にお知らせください。	精密触診 組織間リリース

2020 ジョイントヘルスセミナーシリーズ

名称： **ジョイントヘルス勉強会 Joint Health Seminar**

単発

随時	この勉強会は、各地の医療機関のリハ室やホテルの居室などで10名程度の少人数で行う勉強会です。毎月翌月の計画を立て、会場および参加者を募集します。できるだけ無理なく全国で行いたいと思っており、蒲田の出張予定に合わせてのスケジュールとなります。勉強会の進め方としては、参加者の症状を中心に治療を行い、治療を共有しながらディスカッションします。
----	---